1)	特別	償去	準備	金の	損金第	算人に	関	する問	月紐	書		事年	業度		•			法人名	<u> </u>					
特	別	別償却			種	類	1	第		条第	項		37	期に		越す 5)・		積立 <sup>2</sup> 2)	下足4	額	9	-		円
当	其 	月	積		Ż	額	2		<b></b>		円	積	<b>坐積</b> 特	i 期 t 立 f 別 ſ	におている	と額集備	て 切 又 金 和	り 捨 は 合 責 立 不	て併足	る 等 額	10			
当期					限度		3					立	-		翌		~ o	) 繰		額	1			
積立限度	積 ī 特別	と 不     賞ま	足額	[又は [金積	越 合 併 立不足	た : 等 ! 額	4					不	翌期	1	平	9)	• (.			1	12			<del></del>
度額	積	立 (		限 + (4 	度 .)	額	5					足	への		平 —— á		· —— 期	•		分				
差	積			度 超 一(5		額	6					額	繰越額の		(	7)		(8)			13		<u> </u>	
	積立	割			却の場合 7-(2)								内			計 ) + (13)			]	14				
引	不足額	(	3)—	((2)	(償却の場合 2)-(4)) 8 ()のときは、(3))							合	併勻	等特.		部準∙ 3)−	備金積立不足額 (2)			額	15			
		(((2	) — (4,	<u> </u>	16 914	<u>益</u>	1	金	算		入	客	頂	0	<i>D</i>	計		算						
舍,	<b>分</b> 惠 3	業年度			首初の積立額の ち損金算入額		- 1		自耳備	現在の 備金額 17		当均等	等取崩しに		益 金		を 算 入 都 (18)以外の場合 19			額		翌期繰越額(17)-(18)-(19)		
作具 二	<u> 中</u> 2	* +	及	16			aura	<del></del>				(16	) X <del>-</del> {	× 84、60又は(耐用年数×12)						勿 (日)	-	11)	20	
耐正 用法	•						円		1		円	84		10	) 	円		1	<i>3</i>	円	-			
年附 数則												84			•									円
が第 1020 年条	•		•									84		· ·									,	
以の 上規	•											84									-			
の定 場の 合適			•							-		84												
及び平成な												84	ī											
13 る			•					<u>.</u>				84							_					
年場 改合	当	期	分																					
耐用年			•								円		-			円				円				
数			•									-	-											円
が 10 年			•									-	-								-			
未満			•									-	-								-			
の場			•			·····						_	-								+			
合	当	期	分	 		_					一	_				円	_			- 円				
	<u></u>						4-1			22		産		<u></u>			訳	<u>.    </u>		——	'			
種				類 構造・区分・設備			対量機能	<b>象</b> の種類 知					—	の  称	<b>内</b> 事業の用					Titly E	 計用年数			<del></del> 積立額
(Æ				^~				· / (王 75)	- 1	μч	<u></u>	1		Jar	<del> </del>	平		·			<u></u>	年	⊒ #J/	頃 立 観 ———— 円
									+						-	平								
-									+					平										
									.1.			計			<u></u>					l				